

5. 研修効果の検証

(1) 企画委員会の開催

昨年度事業結果を踏まえ、本年度実施するモデルプログラムに基づく研修の効果検証を行うため、女性育成に対し知見のある有識者、女性活躍推進、ダイバーシティ推進、企業経営に精通している有識者、及び、共催団体メンバー等による企画委員会を開催した。企画委員会の委員は以下のとおりである。

(50音順・敬称略)

<座長>

橋・フクシマ・咲江 G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長

<委員>

アキレス 美知子 SAPジャパン(株) 人事戦略特別顧問
神崎 夕紀 キリンビール(株) 常務執行役員 横浜工場長
河野 真理子 (株)キャリアン 代表取締役
清水 充 仙台市 市民局 協働まちづくり推進部 男女共同参画課長
武富 正夫 第一フロンティア生命保険(株) 代表取締役社長
第一生命ホールディングス(株) 取締役 常務執行役員
津島 伊保 広島県 商工労働局 働き方改革推進・働く女性応援課長

※所属・役職は、令和2年3月16日現在のもの

(2) 企画委員会での検討

企画委員会の開催状況、及び各回の検討事項は以下のとおりである。

回/時期	主な検討事項
<第1回委員会> 日時：令和元年7月24日 10:00~12:00 会場：内閣府内会議室	①研修実施前のプログラムの内容確認 ②研修実施の効果検証方法・検証内容の検討 ③その他
<第2回委員会> 日時：令和2年3月16日 15:00~16:45 会場：内閣府内会議室	①プログラム終了後の効果検証 ②昨年度課題の改善結果 ③その他

(3) アンケートの実施

具体的な研修の効果測定としては、以下のように、①事前アンケート、②当日アンケート、③全体アンケートを行った。

これらのアンケートの結果から見えてきた課題の抽出を行った。

実施のタイミング	目的	主な項目
①事前アンケート ※受講者決定後、研修開始前に、WEBで回答	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の属性が異なるため、現在の職務内容などを把握するとともに、講師と共有することで、研修の充実も図る。 ・講義テーマについての学習レベルや質問内容を事前に確認することで、受講者の知識レベルや関心を講師と共有する。 ・受講前と受講後の比較が可能となるよう設計し、効果検証に活用する。 ・役員に求められる能力への自己認識を確認し、研修前後の比較を可能とする。 ・自己アピールを記載し、その内容を受講者間で共有することで、ネットワーク促進に役立てる。 ・アンケートの集計結果を受講者に配布し、ネットワーク構築や意欲向上に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職務内容、役割 ・職務経験、知識レベル ・研修への期待、学びたいこと ・講義テーマについての学習レベル【本年度新規】 ・研修・講義への質問【本年度新規】 ・役員になることへの意識・不安について ・能力について（強み・弱み・高めたいもの） ・自己アピール文（100字程度）等
②当日アンケート（6回） ※受講後1週間以内にWEBで回答	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の研修プログラムに対する評価や、理解度・難易度、意見を把握し、次回以降の研修の改善につなげる。 ・役員を目指す上で役に立った具体的内容を把握し、効果検証に役立てる。 ・講演・講義への質問を事前に受け付け、講師と共有することで、受講者の理解度アップにつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの評価 ・内容理解度・難易度 ・知識習得に役立ったこと、能力向上に役立ったもの ・気づきや感想 ・次回の講演・講義への質問【本年度新規】等
③全体アンケート ※第5回終了後、及び第6回終了後、WEBで回答	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の研修全体の評価を把握するために実施する。 ・受講によって得られた成果や受講者の意識・行動変化を確認する。 ・特に、研修受講前と比較してどのような変化があったか、また、役員になることへの意識の変化についても聞き、研修効果を検証する。 ・実施形態への意見も聞くことで、次年度以降の企画検討に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修全体への評価、意見感想 ・役員になることへの意識 ・受講前と比較した変化（意識、能力、知識） ・ネットワーク構築 ・研修実施について（回数・頻度、時間帯、参加費）等